



法学研究科／文系URA連携企画

International Symposium on Political Science 2015

Risk State: Japan's Foreign Policy in an Age of Uncertainty

- 講演者: Paul O'SHEA (オーフス大学文化社会学部 助教授)
Ra MASON (セントラル・ランカシャー大学 上級講師)
Sebastian MASLOW (東北大学大学院法学研究科 助教)
- 討論者: Yusuke ANAMI (東北大学大学院法学研究科 教授)
- 司会: Yasunobu OKABE (東北大学大学院法学研究科 教授)



Paul O' Shea



Ra Mason



Sebastian Maslow

日時:
2015.

8/27 (木) 16:30~18:30

会場:

東北大学片平キャンパス エクステンション教育研究棟 3階302教室

言語: 英語

参加申込:

maslow@law.tohoku.ac.jp

(担当者:セバスティアン・マスロー助教)

シンポジウム
参加費**無料**

※ 懇親会参加の場合は
別途4,000円頂きます

主催: 法学研究科 / 共催: 法学研究科附属法政実務教育研究センター

法学研究科／文系URA連携企画 政治学 国際シンポジウム 2015

日 時

2015年8月27日(木) 16:30 – 18:30

場 所

東北大学 片平キャンパス エクステンション教育研究棟 3階302教室

タイトル

Risk State: Japan's Foreign Policy in an Age of Uncertainty

(邦題) リスク国家: 不確実な時代における日本の対外政策

講演者: ポール・オーシア (オーフス大学文化社会学部 助教授)
Paul O' SHEA

ラー・メイソン (セントラル・ランカシャー大学 上級講師)
Ra MASON

セバスティアン・マスロー (東北大学大学院法学研究科 助教)
Sebastian MASLOW

討論者: 阿南 友亮 (東北大学大学院法学研究科 教授)
Yusuke ANAMI

司 会: 岡部 恭宜 (東北大学大学院法学研究科 教授)
Yasunobu OKABE

概 要

冷戦終焉後の東アジアは、新たな安全保障問題の発生とそれに伴う多様なアクターの活動の発展を経験し、国際関係論と外交政策研究に対して、新たな分析概念の創造の必要性を突きつけました。このシンポジウムでは、国内外の新進気鋭の若手研究者が、東アジアの国際関係論と外交政策分析に対して「リスク」という概念を適用することによって、新しい見解を提示し、既存の日本外交政策研究に対して新たな視座を提供するものです。講演者は、*Risk State: Japan's Foreign Policy in an Age of Uncertainty* (Farnham: Ashgate, March 2015) の共著者3名であり、上記の視角から、近年の領土問題、北朝鮮のミサイル・核兵器開発、国際テロ、震災や環境問題といった様々なリスクに対する日本の安全 保障・外交政策を議論します。

シンポジウム・懇親会への参加申込

maslow@law.tohoku.ac.jp (担当者: セバスティアン・マスロー助教)

*当日会場での参加申込も可能です。

シンポジウム参加費: 無料

懇親会参加費 : 4,000円

主催: 法学研究科

共催: 法学研究科附属法政実務教育研究センター